

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

度重なる不祥事 中電は原発動かす資格なし 代表質問で厳しく指摘

核燃料サイクルは破綻 原発ゼロの道こそ

橋本朗市議は6月15日、代表質問で、中国電力の虚偽報告問題について質問しました。



代表質問をする橋本市議

中電は5月13日、放射性廃棄物の一時的な保管に使う『サイトバンカ建物』の巡視について、協力会社の社員が、『2002年以降8人が計32日、巡視していなかった』が、巡視していたように偽造報告していたと発表。不祥事を繰り返す中国電力に原発を運営する資格はない、と追及しました。

松浦市長は、過去の点検不備問題など踏まえて再発防止・安全文化醸成活動などの取り組みの下での事業は極めて遺憾。これまでの取り組みにも効果に疑問を抱かせる、更田

委員長は、記録の偽造は悪質だが、過剰な点検を定めることで大事なことが見落とされ、ことに繋がるので、ふさわしい点検をと述べている。過剰かどうかの判断は別に、大事なことを見落とさないための必要な観点と理解。今後も規制委員会には中電に厳正な指導を要望、など答弁しました。

は廃炉。プルサーマル発電も4基のみで、核兵器の原料・プルトニウムは増え続け、国際社会の不信を招く要因となっている。田中俊一・前規制委員会委員長は『日本の原子力政策は嘘だらけ、問題はいまだに核燃料サイクルに拘泥していること』と語っており、述べ、市長の見解を求めました。

再処理は夢物語！

核燃料サイクル問題について橋本市議は、原子力規制委員会は、再処理工場について事実上『合格』させた。しかし、プルトニウムを取り出しても、使用する高速増殖炉『もんじゅ』

松浦市長は、島根原発の使用済み核燃料が放置されていることが問題。これの持ち出しに再処理が必要。田中氏は、現職時代には再処理の変更は語っていない、など、答弁。橋本市議は、再度、再処理は夢物語と指摘しました。

6月議会最終日 党市議団が議会報告

6月24日は、6月定例会市議会の最終日でした。橋本朗・吉儀敬子・田中肇の日本共産党市議団は、議会終了後さつ

そく交遊橋付近で6月議会の報告を行いました。

吉儀市議は、議会最終日に「黒川東京高検検事長の定年を延長する閣議決定の撤回を求める意見書」を党市議団として提案しましたが、賛成少数で否決されたことを報告。

田中肇市議は、6月議会では、原発問題を取り上げ、コロナは3密を避けることが基本であるが島根原発の敷地内には、3千人もの従業員が働いており、文字通り3密の状態であり、文字通り3密の状態であり、コロナ感染が広がる中で事故が起きれば、避難所に向かうバスは、席を空けて座ればさらにバスは不足すること、避難所

での3密を避ける対策も必要となること等が課題となり、原発を動かすことはできないと訴えました。

橋本朗市議団長は、6月議会は、新型コロナウイルス感染症対策として議会を短期に終えるため、会派代表質問のみとするものが取り決められ、党市議団を代表して質問を行ったことを報告しました。

コロナ問題では、第2波に備えて医療体制の充実、経済の支援に市の独自策を要望したこと、市庁舎は、市民共有の財産であり、市民の意見を聞く機会を確保することを主張してきたことを報告しました。

「加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす原因となっており、うつや認知症の危険因子となることが指摘されている」「コロナに係わる対話や災害時での高齢者との対応では、難聴

加齢性難聴者への補聴器購入助成を、効果等について研究する・健康部長

橋本市議は、「国の補聴器購入への助成は身体障がい者福祉法第4条に規定する身体障がい者で、手帳を持ち、両耳の平均聴力70デシベル以上の高度・重度難聴者が対象。しかし、この基準に達しない加齢性難聴者が増大している」。

「加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす原因となっており、うつや認知症の危険因子となることが指摘されている」「コロナに係わる対話や災害時での高齢者との対応では、難聴者との対話は重要課題。障害者の基準に達しない加齢性難聴者の補聴器購入助成の検討を」と要求しました。

小塚豊健康部長は「難聴は高齢者の生活を不便にするだけでなく、認知症の危険因子の一つとされている」「認知症予防の観点からも、早期の受診と状態に応じた補聴器の活用が必要と言われている」

「障害の基準に達しない加齢性難聴者の補聴器購入助成について、他市の事例も参考にしながら、その効果等について研究していく」と答弁。



6月議会報告を行う党市議団